

地獄と暮らす伝説の街『別府』

背景

別府市は温泉の湧出量・源泉数が日本一の温泉観光地として有名です。別府市に観光に行けば「地獄」という表現をよく目にします。実は、本当にすぐ近くに地獄があるのです。それは別府市周辺に位置する活火山、鶴見岳・伽藍岳です。別府市の火山防災マップを見ると、12万人が暮らす別府市全体に大きな被害が出ると予想されています。

本当に大噴火するの？
 これまでに経験がないからどうしていいかわからない
 ただ不安になるだけ

住民の声

消極的になりがちですが、もしもこの地獄(活火山)と良い関係が築けたら別府市は最強の市になるはず!

火山防災対策の課題

課題1: 火山災害そのものを知らない市民も多くなる
 課題2: 1500年間も噴火を経験しておらず、火山災害を無視した都市構造となっているが、ハード的に整備することは難しい

→ 平時から少しずつ理解を深め、**長期的に別府市の未来像**を考えていく必要がある

楽しいことを考えながら住民1人ひとりができる災害対策として ◎避難所が探せる旅行予約アプリ

- ① 普段の機能: 宿泊+交通機関の予約
 「楽天トラベル」や「エクスペディア」のような宿泊と交通機関の予約+このアプリを使うことで市場の10から20%オフ
- ② 災害時の機能: 避難場所の選択+輸送
 行政任せとなってしまう避難行動、このアプリに登録されている宿泊施設は避難所となることを前提としているため、予め避難所のお気に入りリストを作っておき、災害時には好きな避難所を選択し、Uber Eatsのような要領で輸送される

◎アプリの概要

運営方法: 「PFS(ペイ・フォー・サクセス)」の利用
 災害時に避難所として民間施設の借り上げや用地の確保に必要な費用を成果応酬に充てる
 対象範囲: 全国
 広域避難が重要であるため全国規模
 運営方針
 ① 普段の機能
 災害が発生すれば予約はキャンセルされることを条件に市場よりも安く販売
 ② 災害時の機能
 行政の負担をなるべく軽くし、より質の高い避難ができるように常にデータを収集する

◎段階的に街を変え伝説にする

アプリが普及することで宿泊施設や公共交通などの連携が強化され、そこに移動などを誘導する支援などを盛り込むことで少しずつ対策を図り、ハザードマップで示される危険度の高いエリアから居住地域をできる限り離し、大規模な噴火による空間的な被害を最小限にする。噴火後は火山性の石隕や土壌、火山性の土壌を利用した作物、ジオパークなど新たな産業も見込める。観光地として栄え別府だからこそ親しみを感じられる旅行関連のアプリを通じて前向きな取り組みを模索していくことで、今ある別府のユーモアを残しつつ火山災害を乗り越えられる伝説の温泉観光都市を目指す。



① 普段の機能

旅行予約

② 災害時の機能

災害情報

お気に入り: 災害

避難経路

